



鹿野四郎神社(無津)

**③鹿野四郎神社(無津)**  
鎮座地 都窪郡早島町早島六一一三  
境内地 三三二m  
祭神 鹿野四郎神

飛び地境内神社として合併された。  
また、若宮団地造成に伴い、現在の場所に移された。

**④大藏神社(無津)**  
鎮座地 都窪郡早島町早島六二八  
境内地 七五m  
祭神 日本武尊  
祭神の日本武尊は、小碓命、またの名を日本童男とも呼ばれ、景行天皇の皇子で、仲哀天皇の父とされる。日本神話では英雄として登場し、記紀の記述によれば、二世紀頃に活躍したとさ



大藏神社(無津)

鹿野四郎神社に祀られている鹿野四郎神は実際に存在した人のようであるが、詳細については不明である。  
口碑によると、「むかし、備前の殿様がこのあたりで狩りを催したとき、一匹の白狐を射止めた。ところがその後、家中で不幸が続いたため、これは白狐の祟りかもしれないということとで、この地に丁重に祀った。」という話が神社に伝えられている。  
昭和三十八年一月に鶴崎神社の飛び地境内神社として合併された。  
昭和四十二年〜四十六年に建設された岡山バイパス(現国道二号線)の造成に伴い、丁度計画道の真上にあつた為に現在の場所に移された。

れる。  
古事記には倭建命と記されている。  
大藏神社は小祠であるが、古くから無津の氏子により手厚く祀られて来た。  
昭和三十八年一月に鶴崎神社の飛び地境内神社として合併された。  
境内には大きな一对の注連縄柱と石灯籠がある。



若宮神社(若宮)

**①若宮神社(若宮)**  
鎮座地 都窪郡早島町若宮二二一二  
境内地 五七m  
祭神 若宮大神  
若宮とは、幼少の皇子または貴人の子を指す言葉であるが、これが転じて親神に対する御子神およびその神社を指すようになった。  
更に本宮を他所に勧請して祀った社を指すようになり、平安時代以降は、非業の死を遂げた者など横死者の祟りを恐れて祀った神社や神を指すようになった。  
鶴岡八幡宮(鎌倉市雪ノ下)や春日大社(奈良市春日野町)などの各大社には「若宮」と呼ばれる神社が多く建立されているが、中でも八幡若宮が最も名高い。これは鶴岡八幡宮の創設に伴い、「若宮」が一緒に勧請され、源氏を始めとする武将の信仰を得て、全国に広まった事と、その上に新しい「若宮八幡宮」という社号が生まれ、これが流行して行った事による。

**②厄神社(若宮)**  
鎮座地 都窪郡早島町若宮二五一一〇  
境内地 九七m  
祭神 建速須佐之男命  
厄とは、災難の事で、災難を逃れるために各地で須佐之男命を祀った。  
須佐之男命を祀る神社は、八坂神社(京都市東山区祇園町北側)に代表され、災難除けの故事は、貞観十一年(869)に京の都をはじめ日本各地に疫病が流行したとき、平安京の広大な庭園であった神泉苑に、当時の国の数六十六国にちなんで六十六本の鉾を立て、祇園の神を祀り、さらに神輿をも送って、災厄の除去を祈つた。



厄神社(若宮)

岡山県下の「若宮」神社は次の通り。  
①若宮八幡宮 岡山市北区原九五六  
②八幡若宮 岡山市南区郡二九七八一  
③若宮八幡宮 瀬戸内市邑久町尻海三〇三八  
④若宮神社 倉敷市山地三八七  
⑤若宮神社 小田郡矢掛町江良六〇三  
(神社本庁包括神社のみ境内神社は除く)  
若宮神社は若宮団地の丘陵に鎮座しており、昭和三十八年一月に鶴崎神社の飛び地境内神社として合併された。  
また、昭和四十五年〜四十九年にかけて若宮団地が造成されたのに伴い、現在の若宮公園の一角に社殿を改築して移された。

たことに始まる。  
岡山県下の「厄」神社は次の通り。  
①厄神社 倉敷市連島町西之浦三八二五  
②厄神社 浅口市金光町占見一四三三一  
その他に疫神社八社、素盞鳴神社二十四社等数多く祀られている。  
(神社本庁包括神社のみ境内神社は除く)  
厄神社は若宮神社同様に、若宮団地の丘陵に鎮座しており、昭和三十八年一月に鶴崎神社の